

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年3月23日				
放課後等デイサービス スターフィッシュ						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	机と机の間にパーテーションを設置し、集中して物事に取り組める空間を設けている。	部屋が狭いため、利用者が多い時間帯では十分なスペースを確保することが難しい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	個別対応が必要な子供に対しては、できるだけ同じ職員が担当できるように配置している。	人員配置の基準は満たしているが、時間帯によっては手が足りないと感じることもある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	視覚的に情報を得られるようにホワイトボードや掲示物を活用している。	手洗い場や和室へ移動する際に段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	毎日清掃・消毒を行い、清潔を保っている。勉強や活動を行う部屋とは別に和室があり、引き戸で空間を区切ることが可能。	部屋数が少ないため、活動に合わせて空間を確保することが難しい場合もある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	4	和室やパーテーションを利用して、個別の空間を作成している。	同上
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	4	サービス提供開始前後に適宜実施している。	非常勤職員も含めて全員で集まれる機会が少ない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	紙面だけでなくGoogleフォームも活用してアンケートを実施している。	職員全体で集まって業務改善について検討することが出来ていない。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	サービス提供開始前後に適宜実施している。	非常勤職員も含めて全員で集まれる機会が少ない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	積極的に外部研修へ参加している。	内部研修体制が不十分。定期的な学習の機会が必要。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	ホームページに掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	アセスメントシートなどを用いて保護者の方々と面談し、計画に反映している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	3	計画作成時には、児童発達支援管理責任者が職員と該当するこどもについて情報共有を行っている。	普段対象のこどもを支援している職員以外と情報共有を行う機会が少ない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	計画作成後、職員全体に公表され、確認している。	職員が個々で確認することが多いため、全体で共有する時間が少ない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	4	表情や他者との関わり方、物事への取り組み方などからこどもの状況についてアセスメントを行っている。	標準化されたツールを用いてアセスメントをする機会が少ない。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	個別化された計画が作成されている。	地域支援・地域連携は十分ではない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	5	サービス提供開始前後に適宜実施している。	計画的に実施できていないことがある。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	4	季節ごとの行事を基準に制作や調理などの活動を立案している。	同上
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	こどもたち・職員の状況に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせ実施している。	利用時間帯によって集団活動の提供が難しい場合もある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3	前回利用時の様子や、保護者の方々からの情報を共有している。	日によって行えないことがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	6	サービス提供時間中に職員の入れ替わりがあるため、連携を行っている。	就業時間が異なるため、支援終了後に支援にかかわった職員全員での振り返りが難しい。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	1	記録を読むことで、支援方法の再検討を実施している。	記録の方法が統一されていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	モニタリングシートを用いてモニタリングを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	2	会津まつりで「バナナシェイク」を提供した。	継続した地域交流活動を実施していない。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	3	選択肢を提示するなど、自己選択の支援を実施している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	対象のこどもの支援を行っている職員や、その職員から話を聞いた児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	学校も含めた担当者会議を適宜実施している。	保健、医療機関との連携が弱い。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	必要に応じて学級担任と連絡帳や電話で連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6		本年度開始時に小学校1年生の利用がなかった。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6		該当するこどもがいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	児童発達支援センター主催の会議へ参加している。	参加する職員が固定化している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		交流する機会を設けられていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4	市で実施している連携会議へ積極的に参加している。	参加する職員が固定化している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	保護者が送迎で事業所に来られた際に都度情報共有を行っている。	こどもが自分で事業所に通所している場合、保護者と情報共有する機会が少ない。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	外部で実施しているペアレントトレーニングについて案内している。	事業所主催のペアレントトレーニングは実施出来ていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	利用契約時に管理者が説明を行っている。	利用契約時だけでは説明が不十分な場合がある。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2	モニタリングや送迎時に保護者の意向を確認している。	こども本人への意向確認が不十分。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	保護者に放課後等デイサービス計画を提示し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	必要に応じて対面、電話、チャットで相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	8		実施していない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2	窓口を設置している。	苦情だけでなく、気になることにも対応できるような体制づくりが必要。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	5	アプリを通じて行事予定等を保護者へ通知している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	職員用の部屋でこどもの目に触れないよう保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1	こどもや保護者の状況に合わせて、記録が残る連絡帳などの紙面媒体やアプリのチャットを活用している。	受動的な対応になりがち。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	会津まつりで「バナナシェイク」を提供した。	計画的な実施まで至っていない。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1		保護者への周知が不十分。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	初回契約時に確認している。	服薬内容の変更があった場合の確認体制が不十分。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	食物アレルギーに対応した行事食を考案している。	医師の指示書は提示されていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		周知が不十分。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	4		同上
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2	年間計画に基づいて研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	5		計画に記載していない。